


## 売れる氷見米の安定生産に向けて

いよいよ23年産米の取組みが始まります!!

安定した収量の確保と一等米比率90%以上を目指し健苗育成に取り組みましょう!!

 **コシヒカリの田植時期は  
5月15日を中心に!!**  
\* 中山間地域は5月8日頃  
~播種は4月25日頃に実施しましょう~

### 1 田植日を決めて育苗計画を立てましょう

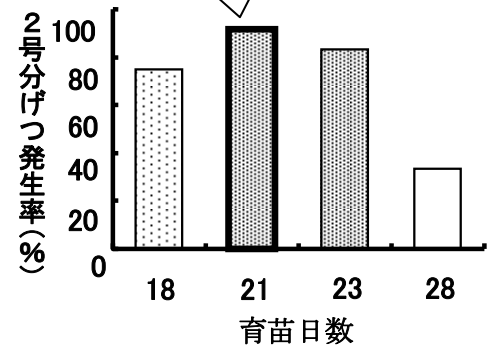
- ・育苗日数は20~22日とし、苗の老化を防ぎましょう!!
- ・育苗日数が長くなると、初期分けつが取れにくく穂数不足になります!

20~22日間の育苗日数の苗は、初期分けつの発生が活発です!

品種名	田植日
てんたかく	5月5日
中山間地域 コシヒカリ	5月8日
コシヒカリ	5月15日



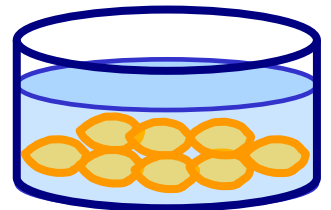
種子消毒	浸種開始日	播種日
3月25日	3月26日	4月12日
4月2日	4月3日	4月15日
4月12日	4月13日	4月25日



(注) 水稻育苗後にハウス内で野菜を作付けする場合は、苗箱施薬剤は、育苗ハウスから搬出した後に施用しましょう!

### 【浸種のポイント】今年の浸種は長めに!! 22年産種子は猛暑の影響で休眠が深くなっています!!

- ① 浸種期間は積算温度で120℃を確保し、水温は10~15℃を保ちましょう。  
⇒「10℃12日間」 又は 「15℃8日間」
- ② 浸種後半は、水温が上がり過ぎないように注意しましょう。
- ③ 水中の酸素が不足しないよう、2日に1回、水の入れ替えを行いましょう。



### 2 ケイ酸質資材を散布しましょう ~今からでも間に合います~

昨秋、土づくり資材を散布できなかった圃場には、春の荒起こし前に散布しましょう。

資材名	散布量
ひみ土げんき君	60~100kg/10a
活源パワー	

### 3 田面を均平にしましょう

浅水管理の徹底で初期茎数が確保できるように、耕起前に高低差を直し、ほ場全体の均平度を高めておきましょう。



☆☆最新情報は、氷見チャンネル9をご利用下さい☆☆